インストールガイド

AXIS P7214 ビデオエンコーダー

AXIS P7210 ビデオエンコーダー

日本語

このマニュアルについて

本書は、お使いのネットワークに AXIS P7214/P7210 をインストールする方法について説明しています。ネットワークの構築経験をお持ちの場合は、本製品のインストールに役立ちます。

法律上の注意事項

ビデオまたは音声監視は法律によって禁止されている場合があり、その内容は国によって異なります。本製品を監視用途でご利用になる前に、ご利用いただく地域の法律を確認してください。
本製品には H.264 デコーダー用のライセンスが 1 つおよび AAC デコーダー用のライセンスが 1 つ付属しています。追加ライセンスのご購入については、Axis 製品の販売店にお問い合わせください。

電波に関する適合性 (EMC)

本装置は無線周波数を発生および使用し、また放射する可能性があるため、指示通りに設置および使用されていない場合は、無線通信に有害な妨害をもたらす恐れがあります。ただし、特定の設置で妨害が生じないという保証はありません。

本装置がラジオまたはテレビ受信機に対して有害な妨害を招き、本装置の電源の入 / 切を行うことによって本装置が原因であると確認できた場合は、次の 1 つまたはそれ以上の措置にしたがって妨害を是正してください。受信アンテナの方向または位置を変更する。本装置と受信機の間隔を広げる。本装置を、受信機が接続されているものとは異なるコンセントに接続する。販売店または経験を積んだラジオ / テレビ技術者に相談する。EMC 基準に準拠するには、本装置と一緒にシールド付き (STP) ネットワークケーブルを使用する必要があります。

米国 – 本装置は FCC 基準のパート 15B に基づき、クラス B コンピューターデバイスの規定範囲に準拠しているかどうかの審査を受け、認証済みです。FCC 基準のパート 15B は、装置を商業環境内で作動させた場合、干渉などから適度な保護を提供するように設計されています。居住地区での本装置の動作は干渉を引き起こす可能性が高くなります。その場合、ユーザーは干渉をなくす措置を自費で行わなければなりません。

カナダ – このクラス B デジタル装置は、カナダの ICES-003 に準拠しています。

ヨーロッパ – CE このデジタル装置は、EN55022 の規定範囲 B に準拠した放射妨害波に関する要件、また居住地および商業地域での EN55024 の規定範囲に準拠した耐性に関する要件を満たしています。

日本 – この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報装置です。この装置を家庭環境でラジオやテレビ受信機に近接して使用すると、無線妨害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しく設置し、使用してください。

オーストラリア – この電子装置は、無線通信（電磁環境適合性）標準 AS/NZS CISPR22 の要件を満たしています。

安全

この製品は、外部電源装置から電力を得るよう設計されています。この外部電源装置は、EN 60 950-1 に準じた安全超低電圧および有限電源の要求を満たしていることが必要です。

装置の改造

本装置は、必ず本書やユーザーズマニュアルの手順にしたがって設置および使用してください。本装置には、ユーザーが交換や修理を行える部品は含まれていません。無許可で装置を変更したり、改造したりした場合、適用されている規制証明や認可がすべて無効になります。

責任

本書の制作には細心の注意を払っていますが、不正確な記述や脱落、乱丁または落丁を見つけられた場合は、最寄りの Axis 事業所までご連絡ください。また Axis Communications AB は、技術的な間違いや誤字・脱字などに対して責任を持たず、予告なく製品や文書の記載内容に対して変更、修正を行う権利を保持します。Axis Communications AB は、本書に含まれる内容について、商用性および製品の特定用途に対する適性についての黙示的な保証を含め、一切保証を行いません。Axis Communications AB は、この資料の提供、パフォーマンス、使用に関連した付随的または結果的な損害に対して責務および責任を負いません。

RoHS

本製品は欧州 RoHS 指令 (2002/95/EC)、中国 RoHS 指令 (ACPEIP) に適合しています。

WEEE 指令

欧州連合では、電気および電子装置廃棄物についての指令 2002/96/EC (WEEE 指令) を導入しました。この指令は、欧州連合加盟国に適用されます。
本製品またはその資料の WEEE マーク (右側を参照) は、家庭のゴミと一緒にこの製品を捨ててはならないことを示しています。人間の健康および / または環境への害を防止するために、本製品は承認を受けた環境的に安全なリサイクルプロセスで処分することが必要です。本製品を正しく処分する方法について詳しくは、製品のサプライヤーまたはご使用地域でのゴミ処理を担当する地域当局にご連絡ください。
業務ユーザーの方は、本製品の正しい処分方法について、製品のサプライヤーまでご連絡ください。本製品は、他の産業廃棄物と混合しないでください。詳細については、www.axis.com/techsup/commercial waste を参照してください。

サポート

技術サポートが必要な場合は、Axis 製品の販売店にお問い合わせください。Axis 販売店がお客様のご質問にすぐに回答できない場合は、適切な部門に転送し、早急に回答いたします。インターネットをご利用の場合は、次のことが行えます。

- ユーザーズマニュアルやファームウェアの更新をダウンロードする。
- FAQ データベースで問題の解決方法を見つける。製品別、カテゴリー別、または語句を使用して検索する。
- 専用サポートエリアにログインして、Axis サポートに問題を報告する。

AXIS P7214/P7210 は 3.0V CR2032 リチウムバッテリーを使用しています。詳細については、3 ページを参照してください。

安全確保

製品をインストールする前に、本インストールガイドをよくお読みください。インストールガイドは今後参照するために保管しておいてください。

⚠ 警告！

- Axis 製品を輸送する場合には、製品の損傷を防ぐために元の梱包または類似した梱包を使用してください。
- Axis 製品は、乾燥した換気のよい環境で保管してください。
- 製品が損傷する可能性があるため、振動、衝撃または強い圧力が製品にかからないようにし、カメラを不安定なブラケット、不安定または振動する場所や壁に取り付けないでください。
- Axis 製品を取り付ける際は、手動工具のみを使用してください。電動工具を使用したり、過剰な力をかけると製品が損傷することがあります。
- 化学薬品、腐食剤、噴霧式クリーナーは使用しないでください。清掃する場合には湿った布を使用してください。
- 製品の技術仕様に準拠したアクセサリーのみを使用してください。このようなアクセサリーは Axis またはサードパーティーから購入できます。
- Axis が提供または推奨する交換部品のみを使用してください。
- 製品を自分で修理しないでください。修理に関しては Axis または Axis 販売店にお問い合わせください。

⚠ 重要！

- 本 Axis 製品は、お使いになる国・地域の法律および規制にしたがって使用してください。

バッテリーの交換

本 Axis 製品は、内部のリアルタイムクロック (RTC) 用電源として 3.0V CR2032 リチウムバッテリーを使用しています。通常、このバッテリーは最低 5 年間使用できます。バッテリーが低電力の状態となると、RTC の動作に影響し、電源オンのたびにリセットされます。バッテリーの交換が必要になった場合、ログメッセージが表示されます。バッテリーは、必要な場合以外には交換しないでください。

バッテリーの交換が必要になったときは、www.axis.com/techsup を参照してください。

- バッテリーは、正しく交換しないと爆発する危険があります。
- メーカーが推奨する同じバッテリーまたは同等のバッテリーのみと交換してください。
- 使用済みバッテリーを廃棄する際は、メーカーの指示にしたがって処分してください。

AXIS P7214/P7210 ビデオエンコーダーインストールガイド

このインストールガイドでは、お使いのネットワークに AXIS P7214/P7210 ビデオエンコーダーをインストールする手順について説明しています。この製品の使用に関するこの他の詳細については、製品のユーザーズマニュアルを参照してください。ユーザーズマニュアルは、製品に付属の CD または Axis のホームページ (www.axiscom.co.jp) からご覧いただけます。

日本語

インストール手順

次の手順にしたがって、ローカルネットワーク (LAN) に AXIS P7214/P7210 を インストールしてください。

1. 以下のリストで、パッケージの内容を確認してください。
2. ハードウェアの概要。6 ページを参照してください。
3. ハードウェアの設置。7 ページを参照してください。
4. IP アドレスの設定。9 ページを参照してください。
5. パスワードの設定。12 ページを参照してください。

重要！
本製品はお使いになる国の法律および規制にしたがって使用してください。

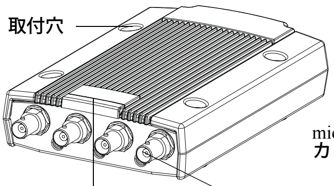
① パッケージの内容

品目	モデル / 型 / 注
Axis ビデオエンコーダー	AXIS P7214 AXIS P7210
電源アダプター	AXIS P7214: PS-K AXIS P7210: PS-P
取付キット	AXIS P7214 • コンクリートの壁にエンコーダーを取り付けるための 4 本のねじと 4 個のプラグ AXIS P7210 • 8 本のねじ • 2 個の取付ブラケット AXIS P7214/P7210 • 4 個の表面保護パッド • 端末ブロックコネクター (I/O: 6 ピンのコネクター、RS-485/RS-422: 2x2 ピンのコネクター、電源 : 2 ピンのコネクター)
CD	AXIS ネットワークビデオ製品 CD (製品マニュアル、インストールツール、その他のソフトウェアを含む)
印刷物	AXIS P7214/P7210 インストールガイド(本書) Axis 保証契約約款

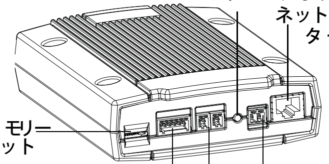
❷ ハードウェアの概要

AXIS P7214

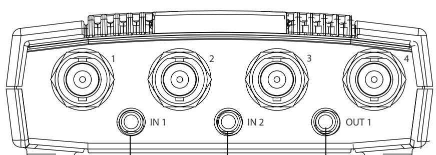
正面図



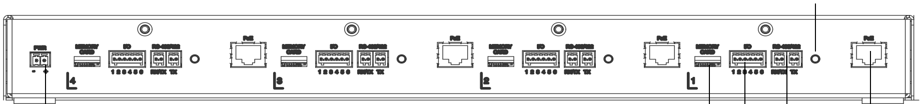
背面図



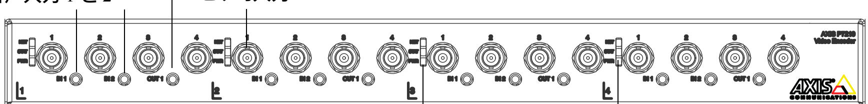
正面図



AXIS P7210 - 背面図



AXIS P7210- 正面図



寸法

AXIS P7214	高さ x 幅 x 奥行 = 37x109x172 重量 570g
AXIS P7210	高さ x 幅 x 奥行 = 45x440x165 重量 2,540g

③ ハードウェアのインストール

重要！

AXIS P7214/P7210 のケースは、屋外での使用は許可されていません。製品は室内環境のみでインストールできます。

注意：
- AXIS P7214/P7210 は、単に平らな表面に置くことも、取り付けることもできます。取付方法については、以下を参照してください。
- 保護パッドをくりぬき、ビデオエンコーダーの底面に貼り付けて、ビデオエンコーダーを配置する表面に傷が付かないようにします。

ビデオエンコーダーをマウントします (AXIS P7214)

ビデオエンコーダーには、ビデオエンコーダーをコンクリートの壁に取り付けるためのねじとプラグの入った取付キットが付属しています。

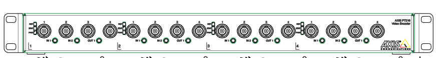
1. ビデオエンコーダーを壁に据えて、4 つの取付穴の印を付けます (6 ページの図を参照)。
2. ドリルで取付穴をあけます。
3. 壁用プラグを壁に挿入し、付属のねじで壁に取り付けます。

ビデオエンコーダーをマウントします (AXIS P7210)

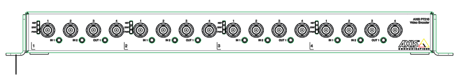
ビデオエンコーダーには、ブラケットとねじの入った取付キットが付属しています。ユニットは ラックまたはコンクリートの壁に取り付けられます。

取付ブラケットをビデオエンコーダーに取り付けます。このとき、1U 19 インチ標準ラックまたは壁での設置に適した角度で取り付けてください。

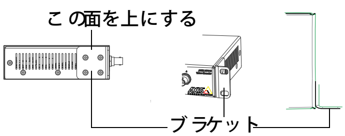
AXIS P7210 を ラックに取り付ける場合



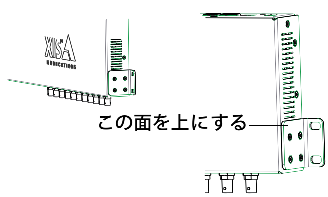
AXIS P7210 を壁に取り付ける場合



ラックに取り付ける場合のブラケット位置



壁に取り付ける場合のブラケット位置



注意： 各ブラケットをビデオエンコーダーの適切な側面に取り付けることが必要です。このとき、壁に取り付けるかラックに取り付けるかによって、適切な角度で取り付けてください。

壁での取り付け

1. ブラケットを取り付けたビデオエンコーダーを壁に据えて、各ブラケットにつき 4 つの取付穴の印を付けます (上記の図を参照)。
2. ドリルで取付穴をあけます。
3. 適切なねじを使ってビデオエンコーダーを壁に取り付けます。

ケーブルを接続します

1. シールド付きネットワークケーブルを使ってエンコーダーをネットワークに接続します。PoE をご使用の場合は、以下の注意を参照してください。
2. 必要に応じて、アラームデバイスなどの外部 I/O デバイスを接続します。ターミナルコネクターピンについては、16 ページを参照してください。
3. 必要に応じて、アクティブスピーカーや外部マイクをに接続します。
4. ビデオ入力にカメラを接続します。
5. ユニットに DC 電源から電力を供給する場合、付属の屋内用電源アダプターまたは外部電源装置を接続します。以下の注意を参照してください。
6. インジケーター LED が正しい状態を表示していることを確認してください。詳細については、18 ページの表を参照してください。

注意： このユニットは、DC 電源または PoE から電力を得られます。
DC 電源からユニットに電力を供給する場合は、ユニットの背面にある電源コネクターに電源装置を接続します。
PoE でユニットに電力を供給する場合は、PoE ネットワークケーブルを接続します。
AXIS P7210 では、4 本の PoE ネットワークケーブル (各グループにつき 1 本) を接続してください。

❹ IP アドレスの設定

現在、ほとんどのネットワークでは、DHCP サーバーを使用して自動的に接続デバイスにIP アドレスを割り当てています。ネットワークに DHCP サーバーが導入されていない場合、AXIS P7214 は、192.168.0.90 を デフォルトの IP アドレスとして使用します。

AXIS P7210 では、4 つのビデオ入力コネクターで構成された各グループで、4 つの異なった IP アドレスを使用します。ビデオエンコーダーに記載された番号は、各 4 つのグループを示しています。グループ 1 のデフォルト IP アドレスは 192.168.0.90、グループ 2 は 192.168.0.91、グループ 3 は 192.168.0.92、グループ 4 は 192.168.0.93 です。

Windows 環境では、IP アドレスの設定に **AXIS IP Utility** または **AXIS Camera Management** をご使用ください。これらは無償のソフトウェアで、製品に付属の AXIS ネットワークビデオ製品 CD に収録されています。また、www.axis.com/techsup からダウンロードしてご利用いただけます。インストールするカメラの台数に応じて、最適な手段をお選びください。

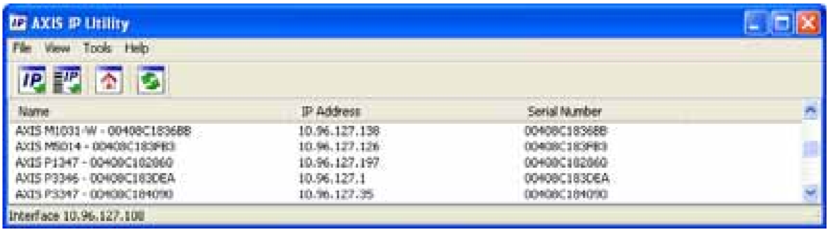
使用できる手段	推奨される製品設置環境	オペレーティングシステム
AXIS IP Utility 10 ページ参照	単一のビデオエンコーダー 小規模インストール	Windows
AXIS Camera Management 11 ページ参照	複数のビデオエンコーダー 大規模インストール 異なるサブネットでのインストール	Windows 2000 Windows XP Pro Windows 2003 Server Windows Vista

注意 :

- IP アドレスの設定が行えない場合は、ファイアウォールによってこの操作が妨げられていないかどうかを確認してください。
- 他のオペレーティングシステムを使用する場合など、AXIS P7214/P7210 の IP アドレスのこの他の設定方法および検出方法については、14 ページを参照してください。

AXIS IP Utility - 単一のカメラ / 小規模の設置

AXIS IP Utility は、ネットワーク上の Axis デバイスを自動的に検出して表示します。また、このアプリケーションでは手動で固定 IP アドレスを設定することができます。



AXIS P7214/P7210 は、AXIS IP Utility が動作しているコンピューターと同じネットワークセグメント (物理サブネット) に接続されていることが必要です。

自動検出機能

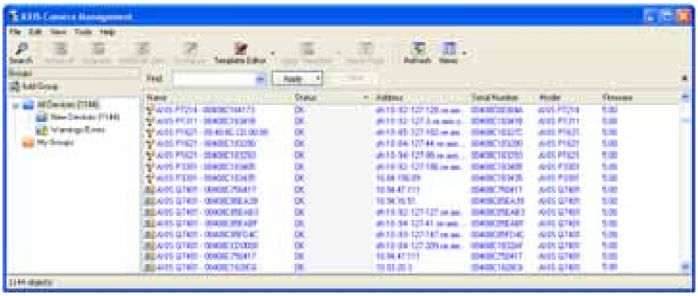
1. AXIS P7214/P7210 がネットワークに接続され、電源が入っていることを確認します。
2. AXIS IP Utility を起動します。
3. AXIS P7214/P7210 では、それをダブルクリックしてホームページを開きます。AXIS P7210 がウィンドウに表示され、4 つのビデオ入力グループのそれぞれに対して 1 つのエントリーがウィンドウに表示されます。
4. パスワードの設定方法については、12 ページを参照してください。

IP アドレスの手動設定 (オプション)

1. コンピューターと同じネットワークセグメント上で、未使用の IP アドレスを入手します。
2. AXIS P7214 を選択するか、リストで 1 つの AXIS P7210 を選択します。
3. **[Assign new IP address to the selected device (選択したデバイスに新しい IP アドレスを設定)]** ボタン  をクリックして、IP アドレスを入力します。
4. **[Assign (設定)]** ボタンをクリックし、指示にしたがいます。
5. **[Home Page (ホームページ)]** ボタンをクリックして、ビデオエンコーダーの Web ページにアクセスします。
6. パスワードの設定方法については、12 ページを参照してください。

AXIS Camera Management (複数台のカメラ / 大規模インストール向き)

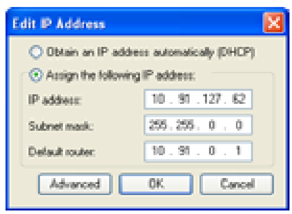
AXIS Camera Management は、自動的に複数の Axis ビデオ製品の検索を行い、IP アドレスを設定し、接続ステータスを表示し、ファームウェアアップグレードを管理できます。



自動検出機能

1. エンコーダーがネットワークに接続され、電源が入っていることを確認します。
2. AXIS Camera Management を起動します。エンコーダーがウィンドウに表示されたら、それをダブルクリックし、エンコーダーのホームページを開きます。
   AXIS P7210 では、ビデオ入力コネクターの 4 つのグループのそれぞれに対して 1 つのエントリーがウィンドウに表示されます。
3. パスワードの設定方法については、12 ページを参照してください。

1 台のデバイスに IP アドレスを設定する



1. AXIS Camera Management でビデオエンコーダーを選択し、**[Assign IP (IP を設定)]** ボタン をクリックします。
2. **[Assign the following IP address (次の IP アドレスを設定)]** を選択し、デバイスに設定する IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトルーターの値を入力します。
3. **[OK]** ボタンをクリックします。

複数のデバイスの IP アドレスを設定する



AXIS Camera Management を利用すると、特定の範囲から IP アドレスが提示されることにより、複数のデバイスに IP アドレスを割り当てる作業を迅速化します。

1. 設定したいデバイスを選択し (異なるモデルも選択可能)、**[Assign IP (IP を設定)]** ボタンをクリックします。
2. **[Assign the following IP address range (次の IP アドレス範囲を設定)]** を選択し、IP アドレスの範囲、サブネットマスク、デバイスが使用するデフォルトルーターを入力します。
3. **[OK]** ボタンをクリックします。

パスワードの設定

製品にアクセスするには、デフォルトの管理者ユーザー **root** 用のパスワードを設定する必要があります。この設定は、AXIS P7214/P7210 に初めてアクセスしたときに表示される、**[Configure Root Password (ルートパスワード設定)]** ダイアログで行います。

root パスワード設定時にネットワーク上で盗聴されるのを防ぐため、パスワードの設定は暗号化された HTTPS 接続を使用して行うことができますが、この場合には HTTPS 証明書が必要です (下記の注意を参照）。

標準 HTTP 接続でパスワードを設定するには、以下の最初のダイアログに直接入力してください。

HTTPS 暗号化接続を使用してパスワードを設定するには、次の手順にしたがってください。

1. **[Create self-signed certificate (自己署名証明書を作成)]** ボタンをクリックします。
2. 必要な情報を入力して **[OK]** をクリックします。証明書が作成され、安全な状態でパスワードを設定できるようになりました。この時点から AXIS P7214/P7210 との間で送受信されるすべてのデータトラフィックが暗号化されます。

3. パスワードを入力し、スペルミスがないかを確認するために再入力します。**[OK]** をクリックします。これでパスワードの設定が完了しました。



4. ログインするには、画面の要求にしたがってユーザー名 "root" を入力します。

注意： デフォルトの管理者ユーザー名 root は削除できません。

5. 上記の手順で設定したパスワードを入力し、**[OK]** をクリックします。パスワードを忘れてしまった場合、AXIS P7214/P7210 を工場出荷時設定にリセットする必要があります。19 ページを参照してください。

6. 必要な場合、**[Yes (はい)]** をクリックして AMC (AXIS Media Control) をインストールすると、Internet Explorer でビデオストリームを表示できます。インストールするには、コンピューターの管理者権限が必要です。

7. AXIS P7214/P7210 の [Live View (ライブビュー)] ページが表示されます。[Setup (設定)] リンクをクリックすると、エンコーダーをカスタマイズできるメニューが表示されます。

[Setup (設定)] - お客様の要件にしたがってエンコーダーを設定するために必要なすべてのツールを提供します。



[Help (ヘルプ)] - エンコーダーの使用に関する総合的なオンラインヘルプが表示されます。

注意 :

- HTTPS (Hypertext Transfer Protocol over SSL) は、Web ブラウザーとサーバー間のトラフィックを暗号化するためのプロトコルです。HTTPS 証明書は暗号化された情報の受け渡しをコントロールします。
- デフォルトの管理者ユーザー名 root は削除できません。
- パスワードを忘れてしまった場合、AXIS P7214/P7210 を工場出荷時設定にリセットする必要があります。19 ページを参照してください。

IP アドレスのその他の設定方法

次の表では、その他の IP アドレスの設定または検出方法を説明しています。すべての方法はデフォルトで有効になっていますが、無効にすることもできます。

	対応オペレーティングシステム	注意
UPnP™	Windows	コンピューターで有効になっている場合は、ビデオエンコーダーが自動的に検出され、[My Network Places (マイネットワーク)] に追加されます。

Bonjour	MAC OS X (10.4 以降)	Bonjour に対応したブラウザーで使用できます。ブラウザー (Safari など) の Bonjour ブックマークに移動し、リンクをクリックしてビデオエンコーダーの Web ページにアクセスします。
AXIS Dynamic DNS Service	すべて	Axis が無償で提供するサービスで、ビデオエンコーダーをすばやく簡単にインストールできます。サービスの利用には、HTTP プロキシーを使用しないインターネット接続が必要です。詳細については、www.axiscam.net を参照してください。
ARP/Ping	すべて	以下を参照してください。コマンドの発行は、ビデオエンコーダーに電源を接続してから 2 分以内に行う必要があります。
DHCP サーバーの管理ページの表示	すべて	DHCP サーバーの管理者ページを表示する方法については、サーバーのマニュアルを参照してください。

ARP/Ping を使用して IP アドレスを設定する

1. コンピューターが接続されているネットワークセグメントと同一のネットワークセグメントで、未使用の IP アドレスを入手します。
2. AXIS P7214/P7210 のラベルに表示されているシリアル番号 (S/N) を見つけます。
3. コンピューターでコマンドプロンプトを開き、次のコマンドを入力します。

Windows の構文	**Windows の例**
`arp -s <IP アドレス> <シリアル番号>` `ping -l 408 -t <IP アドレス>`	`arp -s 192.168.0.125 00-40-8c-18-10-00` `ping -l 408 -t 192.168.0.125`
UNIX/Linux/Mac の構文	**UNIX/Linux/Mac の例**
`arp -s <IP アドレス> <シリアル番号> temp` `ping -s 408 <IP アドレス>`	`arp -s 192.168.0.125 00:40:8c:18:10:00 temp` `ping -s 408 192.168.0.125`

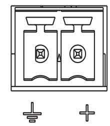
4. ネットワークケーブルが AXIS P7214/P7210 に接続されていることを確認します。次に、電源を抜き、接続しなおして AXIS P7214/P7210 を起動 / 再起動します。PoE を使用している場合、ネットワークケーブルを取り外してから接続し直し、AXIS P7214/P7210 を起動 / 再起動します。
5. 画面に ʻReply from 192.168.0.125:...ʼ またはこれに類似する応答メッセージが表示されたら、コマンドプロンプトを閉じます。
6. ブラウザーのロケーション / アドレスフィールドに「http://<IP アドレス>」と入力し、キーボードの Enter キーを押します。

注意 :

- Windows でコマンドプロンプトを開くには、[スタート] メニューから [ファイル名を指定して実行 ...] を選択し、「cmd」と入力してから、[OK] をクリックします。
- Mac OS X で ARP コマンドを使用するには、[Application (アプリケーション)] > [Utilities (ユーティリティ)] で Terminal ユーティリティを使用します。

各種コネクター

ネットワークコネクター RJ-45 イーサーネットコネクター。Power over Ethernet (PoE) Class 3 - 最大 12.95W に対応。シールド付ネットワークケーブル (STP) の使用をお勧めします。



電源コネクター付属の電源アダプターまたは外部電源装置から電力を得るために使用される、2 ピンのターミナルブロック。

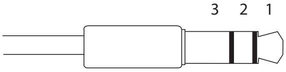
外部電源装置としては、次のものが使用できます。

1. Axis が供給する PS-K P/N 34987 (AXIS P7214)。
2. Axis が供給する PS-P P/N 42118 (AXIS P7210)。
3. 最大出力電流が 5A の、8 ～ 20V DC の外部有限電源。

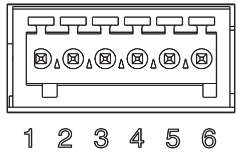
機能	**ピン番号**	**説明**
GND	1	グランド
DC 電源	2	電力入力 8 ～ 20V DC 最大 8W (AXIS P7214) 最大 32W (AXIS P7210)

音声入出力 音声入力用の 3.5mm ジャック 2 個、および音声出力用の 3.5mm ジャック 1 個。ステレオプラグを使用する必要があります。

- 音声入力 1、2: マイクまたはラインレベル入力 (モノラル)。2.0V、2.5V または 3.0V マイクロフォンバイアスが選択可能です。
- 音声出力 1 - ラインレベル音声出力 (モノラル)。 パブリックアドレス (PA) システムやアンプ内蔵のアクティブスピーカーに接続することができます。



	音声入力 1、音声入力 2	**音声出力 1**
1 チップ	マイク / ライン入力	ライン出力 (モノラル)
2 リング		
3 スリーブ	GND	GND



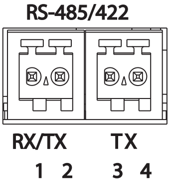
I/O ターミナルコネクター動体検知、イベントトリガー、録画、アラーム通知などのアプリケーションで使用されます。AXIS P7214/P7210 には、補助電源や GND ピンのほかに、入力または出力のどちらかに設定できるピンが 4 つあります。これらのピンは以下の機能に対するインターフェースを提供します。

- トランジスター出力 - リレーや LED などの外部デバイスを接続します。接続したデバイスは、AXIS VAPIX API、**[Live View (ライブビュー)]** ページの出力ボタン、または **[Event Type (イベントタイプ)]** で動作させることができます。アラームデバイスが起動されると、出力は active と表示されます (**[Event Configuration (イベント設定)]** > **[Port Status (ポートの状態)]** の下に表示)。
- デジタル入力 - オープンサーキットとクローズサーキットの切り替えが可能なデバイス (たとえば、PIR、 ドア / 窓のコンタクト、ガラスが割れた場合の検出器など) を接続するためのアラーム入力。信号を受け取ると、状態が変化し、入力が active になります (**[Event Configuration (イベント設定)]** > **[Port Status (ポートの状態)]** で表示されます)。

機能	**ピン**	**注意**	**仕様**
GND	1	グランド	
3.3V DC 電源出力	2	補助デバイスに電源を供給することができます。	最大負荷 = 250mA
設定可能 (入力または出力)	3 - 6	デジタル入力 - 動作させるには GND に接続します。動作しないようにする場合はフロート状態 (未接続) にしてください。	0 ～ 40V DC
		デジタル出力 - アクティブにした場合にグランドに内部接続、アクティブでない場合はフロート状態 (未接続)。外部リレーとともに使用する場合は、電圧過度現象に対する保護のためにダイオードを負荷と並列に接続する必要があります。	最大負荷 = 100mA 最大電圧 = +40V DC

RS-485/RS-422 コネクターRS-485/RS-422 シリアルインターフェース用の 2 ピンのターミナルブロック (2 つ)。PTZ デバイスなどの補助デバイスの制御に使用。

RS-485/RS-422 シリアルポートは、次のものに対応するように設定できます。



- 2 線式 RS-485、半二重
- 4 線式 RS-485、全二重
- 2 線式 RS-422、単方向
- 4 線式 RS-422、全二重のポイントツーポイント通信

機能	ピン	注意
RS-485/RS-422 RX/TX A	1	(RX) 全二重用 RS-485/RS-422 (RX/TX) 半二重用 RS-485
RS-485/RS-422 RX/TX B	2	
RS-485/RS-422 TX A	3	(TX) 全二重用 RS-485/RS-422
RS-485/RS-422 TX B	4	

microSD メモリーカードスロット大容量 microSD メモリーカードは、リムーバブルストレージでのローカル記録に使用できます。

BNC コネクター75 ohm の同軸ビデオケーブルを接続します (最大長 250 メートル)。

注意： 各ビデオ入力では、75 Ohm のビデオ終端は、[Video & Audio (ビデオと音声)] >[Video Input (ビデオ入力)]> [Video termination (ビデオ終端)] の製品 Web ページで有効 / 無効にできます。これらの終端は、工場出荷時に有効になっています。他の装置と並列して本製品を接続する場合、最高の画質を得るために、ビデオ信号チェーンの最後のデバイスのみで終端を有効とすることを推奨します。

LED インジケーター

LED	色	説明
ネットワーク	緑色	100Mbps ネットワークに接続されている場合に連続点灯します。ネットワークアクティビティーがあると点滅します。
	オレンジ色	10Mbps ネットワークに接続されている場合に連続点灯します。ネットワークアクティビティーがあると点滅します。
	消灯	ネットワークに接続されていません。
ステータス	緑色	正常動作時に、緑色で連続点灯します。
	オレンジ色	ネットワークカメラの起動中、工場出荷時の状態へのリセット中、および設定を復元している時にオレンジ色で点灯します。
	赤色	低速で点滅している場合は、アップグレードに失敗しました。
電源	緑色	正常に動作しています。
	オレンジ色	ファームウェアのアップグレードを行っている間、緑とオレンジ色で交互に点滅します。

工場出荷時のデフォルトの状態にリセットする

以下の方法を利用してリセットを行うと、IP アドレスを含むすべてのパラメーターが工場出荷時の状態にリセットされます。

1. AXIS P7214/P7210 から電源を抜くか、PoE を使用する場合はネットワークケーブルを抜きます。
2. コントロールボタンを押したままにして、電源または PoE を使用する場合はネットワークケーブルを再接続します。
3. ステータスインジケーターがオレンジ色で点灯するまで、コントロールボタンを押し続けます (約 15 秒程かかります)。
4. コントロールボタンを離します。ステータスインジケーターが緑色で点灯したら (1 分程かかる場合があります) 手順が完了で、ビデオエンコーダーがリセットされました。
5. IP アドレスを設定し直すには、本書で説明する方法で行ってください。

パラメーターを工場出荷時のデフォルトの設定にリセットするには、Web インターフェースを使用することもできます。詳細については、オンラインヘルプまたはユーザーズマニュアルを参照してください。

インターネットを経由して AXIS P7214/P7210 にアクセスする

IP アドレスの設定が完了すると、お使いのローカルネットワーク (LAN) で AXIS P7214/P7210 にアクセスできるようになります。インターネットを経由してビデオエンコーダーにアクセスする場合は、受信トラフィックを受け入れるようネットワークルーターを設定する必要があります (通常は特定のポートで行います)。

- 閲覧と設定を行う場合は、HTTP ポート (デフォルトポート :80)
- H.264 ビデオストリームを閲覧する場合は、RTSP ポート (デフォルトポート :554)

詳細については、お使いのルーターのマニュアルを参照してください。この他のトピックについての詳細は、Axis のサポートサイト (www.axis.com/techsup) を参照してください。

関連情報

ユーザーズマニュアルは、本製品に付属の AXIS ネットワークビデオ製品 CD または Axis の Web サイト (www.axiscom.co.jp) からご覧いただけます。

ヒント :
www.axis.com/techsup にアクセスして、AXIS P7214/P7210 でファームウェアのアップデート版がリリースされていないかどうかを確認してください。現在インストールされているファームウェアのバージョンを確認するには、[About (バージョン情報)] の Web ページを参照してください。

日本語

インストールガイド Ver. 2.0
AXIS P7214/P7210 ネットワークカメラ 2011 年9 月発行

製品番号 : 44536